

金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム

令和3年度 事業報告書

令和4年9月28日

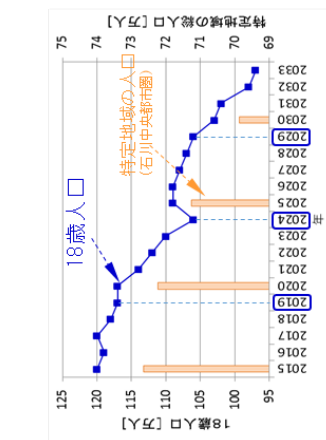
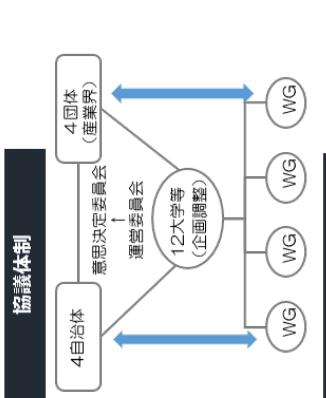
■目次

1. 金沢市 近郊私立大学等の特色化推進プラットフォームの全体概要	1
2. 令和3年度の事業計画と目標値および実績	2
3. 令和3年度 事業実績	
(1) 全体	4
(2) ワーキンググループ別事業報告	
①共同 PBL 運営検討 WG	5
②単位互換検討 WG	6
③専門連携・産学連携研究促進 WG	7
④入学者促進 WG	8
⑤小中校・一般・企業向け学習支援 WG	9
⑥地元就職促進 WG	10
⑦リスクマネジメント検討 WG	11
⑧共同 FD/SD 事業 WG	12
⑨共同 IR 事業 WG	13
4. IR データ（抜粋）	14
5. 自己評価と達成目標・実績	15
■参加大学等	18
■協力自治体	18
■協力産業界	18

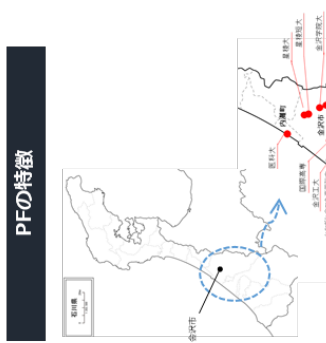
1. 金沢市 近郊私立大学等の特色化推進プラットフォームの全体概要

金沢市近郊 私立大学等の特色化推進プラットフォーム (2021.10.11現在)

(私大等) 金沢医科大学・金沢学院大学・金沢工業大学・金沢大学・金沢短期大学・金沢短期大学・金沢短期大学・金沢短期大学
 (自治体) 金沢市・白山市・野々市市・内灘町 (産業界) 金沢商工会議所・白山商工会議所・野々市商工会・一般財団法人北陸産業活性化センター



- ### 現状・課題
- 大学等の課題**
 - 18歳人口減少に伴う入学者数の確保
 - 多分野集結の学園都市「学都金沢」の権位性の活用
 - 大学コンソーシアム石川内川の私大としての多様性・独自性の発揮
 - 地域の課題**
 - 石川中央都市圏 (金沢市・白山市・野々市市・内灘町) がかほく市・津幡町の活性化
 - 自然・教育・伝統文化・街並み・福祉充実・少子高齢化・人口流出・社会インフラの老朽化・交通ネットワーク・伝統文化産業の後継者の育成

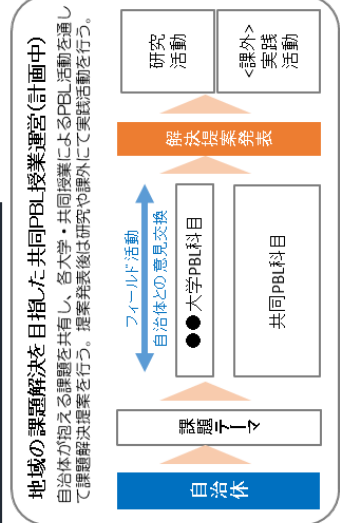
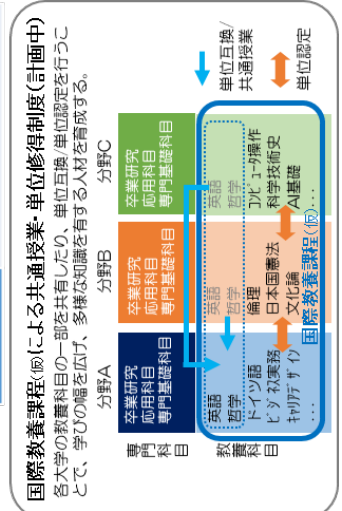
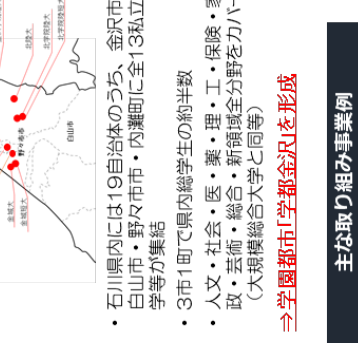


ワーキンググループ

検討・運営WG	担当校 (★は取のほご校)
共同PBL運営検討WG	★金沢大・金沢短大・金沢工大・国際高等
単位互換推進WG	★金沢工大・金沢大・金沢短大・国際高等
専門連携・産学連携研究促進WG	★星稜大・星稜女子短大・金沢学院大・金沢短期大
地元就職促進WG	★金沢学院大・金沢学院短大・星稜大・星稜女子短大
入学者拡大WG	★北陸学院大・北陸学院短大・金沢医科大学
小中連携・一般・企業向け学習支援WG	★北陸大・北陸学院大・北陸学院短大・金沢医科大学
リソースマネジメントWG	★金沢医科大学・金沢工大
共同FD/SD事業	★幹事校 (金沢工大) + 全大等
共同IR	★幹事校 (金沢工大) + 全大等

- ### 将来ビジョン・目標
- 「学都金沢」ブランドの確立
 - 定員充足率100%
 - 入学者定員充足率100%
 - 受託・共同・助成研究契約数120%
 - リソースマネジメント対応項目40件
 - ブランドランキング1位
- 質の高い特色ある教育の実施
- 地域・産業の活性化
 - 住みやすい日本一の圏域

- ### 主な取り組み事業例
- 地域の課題解決を目指した共同PBL授業運営(計画中)
 - 自治体が抱える課題を共有し、各大学・共同授業によるPBL活動を通して課題解決事業を行う。授業発表後は研究や課外にて実践活動を行う。
 - 国際教養課程(例)による共通授業・単位修得制度(計画中)
 - 各大学の教養科目の一部を共有したり、単位互換/単位認定を行うことで、学びの幅を広げ、多様な知識を有する人材を育成する。



2. 令和3(2021)年度の事業計画と目標値および実績

全国 18 歳人口*	114 万人					
石川県 18 歳人口*	10,697 人					
取組内容	2021 年度 活動計画	活動指標		2021 年度 目標値 ※比は 2018 年度比	2021 年度 実績	担当WG
①教育の質向上に向けた各大学の資源の共有化ならびに集中に關すること	・共同型 PBL 運営のための大学間意見交換 ・単位互換のための情報収集	1	協定校(大学・短大・高専・大学院) 定員平均充足率 [在籍者数/収容定員数]	1.00 (2022.5.1)	0.96	共同 PBL 検討 WG
		2	協定校(大学・短大・高専・大学院) 年間除籍・退学者数の合計	524 人 (93%) (2022.3.31)	503 人	単位互換 検討 WG
②類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に關すること	・大学間連携・企業・自治体マッチングのための基盤整備 ・社会実装型研究活動の推進	3	地元企業と協定校による 受託・共同・助成の年間合計契約数	84 件 (110%) (2022.3.31)	95 件	専門連携・産学連携 検討 WG
③「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に關すること	・大学間連携体制の構築 ・大学コンソーシアム石川と連携した広報活動実践 ・共有 HP の公開・情報更新	4	協定校(大学・短大・高専・大学院) 年間受験者数(のべ)の合計	26,897 人 (108%) (2022.5.1)	24,540 人	入学者 促進 WG
		5	協定校(大学・短大・高専) 県内・県外年間入学者数の割合	県内: 県外 = 44:56 (2022.5.1)	53:47	
		6	協定校(大学・短大・高専) 入学募集定員平均充足率 [入学者数/募集定員]	1.00 (2022.5.1)	0.97	
④企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に關すること	・対象別の各大学の提供科目、公開講座等の調査 ・告知、募集に關する企画	7	複数の協力校 (大学・短大・高専)による 小中高校生向けの公開講座等の年間開講件数 ※共通設問 21 に準ずる	3 件 (2022.3.31)	0 件	小中校・一般・企業向け学習 支援 WG
		8	複数の協力校 (大学・短大・高専)による 社会人科目等履修生登録および公開講座受講年間のべ人数	科目等履修生 50 人 公開講座受講者 3,800 人 (118%) (2022.3.31)	科目等履修生 47 人 公開講座受講者 1,698 人	
⑤地元企業の人材確保に關すること	・産業界との意見交換・連携体制の構築 ・産業界のニーズ調査	9	協定校(大学・短大・高専)の卒業生に対する 地元就職者の割合 [石川県内就職者数/卒業者数]	50%以上 (2022.3.31)	42%	地元就職 促進 WG
⑥リスクマネジメントに關すること	・石川中央都市圏との連携体制の構築	10	リスクマネジメントにおけるリスク対応項目数(累積)	20 個 (2022.3.31)	20 個	リスクマネジメント 検討 WG
⑦共同 FD/SD に關すること	・教育・研究・サービス等の情報の共有化	11	共同 FD/SD 年間開催回数	6 回 (2022.3.31)	3 回	共同 FD/SD 事業 WG
⑧共同 IR に關すること	・各大学の基本データの共有と分析	12	共同 IR によるファクトブックの年間報告回数	1 回 (2022.3.31)	1 回	共同 IR 事業 WG

※18歳人口の推移

全国: 文部科学省より

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afildfile/2018/02/16/1401001_4.pdf

石川県: リクルート進研総研より

<http://souken.shingakunet.com/research/2017/01/182016-2f2f.html>

(ワーキンググループ担当一覧)

検討・運営WG	担当校 (★は取りまとめ校)
共同PBL運営検討WG	★金城大・短大、金沢工大、国際高専
単位互換検討WG	★金沢工大、金城大・短大、国際高専
専門連携・産学連携研究促進WG	★星稜大・短大、金沢学院大・短大
入学者促進WG	★北陸学院大・短大、北陸大、金沢医科大
小中高・一般・企業向け学習支援WG	★北陸大、北陸学院大・短大、金沢医科大
地元就職促進WG	★金沢学院大・短大、星稜大・短大
リスクマネジメント検討WG	★金沢医科大、金沢工大
共同FD／SD 事業WG	★幹事校（金沢工大）、全大学等
共同IR事業WG	★幹事校（金沢工大）、全大学等

3. 令和3年度 事業実績

(1) 全体

取組内容	全体	ワーキンググループ								
		①教育の質向上に向けた各大学等の資源の共有化ならびに集中に関する事	②類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に関する事	③「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に関する事	④企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に	⑤地元企業の人材確保に関する事	⑥リスクマネジメントに関する事	⑦共同FD/SDに関する事	⑧共同IRに関する事	
WG	—	共同PBL運営検討WG	単位互換検討WG	専門連携・産学連携研究促進WG	入学者促進WG	小中校・一般・企業向け学習支援WG	地元就職促進WG	リスクマネジメント検討WG	共同FD/SD事業WG	共同IR事業WG
取りまとめ校	幹事校（金沢工業大学）	★金城大・短大	★金沢工大	★星稜大・短大	★北陸学院大・短大	★北陸大	★金沢学院大・短大	★金沢医科大	★幹事校（金沢工大）	★幹事校（金沢工大）
担当	意思決定委員会・運営委員会 ・企画調整委員会	金沢工大、国際高専	金城大・短大、国際高専	金沢学院大・短大	北陸大、金沢医科大	北陸学院大・短大、金沢医科大	星稜大・短大	金沢工大	全大学等	全大学等
4月			・大学コンソ（前期）単位互換		・大学コンソ（パンフレット・ガイドブック）発行					
5月	・R3_第1回企画調整委員会									・大学基本データの調査 ・免許、資格等の調査
6月	・R3_第1回運営委員会 ・オンラインシンポジウム									
7月	・文部科学省地域プラットフォームシンポジウム参加		・私大等PF単位互換協定締結（2校）		・大学コンソ（GAKU FES）オンライン進学説明会					
8月		・オンラインPBL事前学習試行授業	・私大等PF単位互換授業の実施		・オンラインPBLコンベ高校生版					
9月	・R3_第2回企画調整委員会 ・R3_第2回運営委員会				・入学者データ分析調査	・公開講座①②③④	・白山市就職説明会連携調整			
10月	・R3_第1回意思決定委員会 ・かなざわマネジメント専門職大学加入	・ラーニングデザインシンポジウムにて活動報告	・大学コンソ（講義）単位互換	・勉強会（野々市市・市長講演）		・公開講座⑤⑥ ・金沢市・金沢市教育委員会、担当校間の打ち合わせ ・次年度に向けた調整		・リスクマネジメントFD/SD研修	・第1回FD/SD研修「防災に関する研修会」（@金沢工大・オンライン） ・第2回FD/SD研修「北陸大学IRシンポジウム」（@北陸大学・オンライン）	・大学基本データの調査報告 ・免許、資格等の調査報告
11月						・白山商工会議所との共同アンケート「社会人のスキルアップ・社内教育に関する調査」		・各大学の危機管理体制調査		
12月								・各大学の危機管理体制調査報告	・第3回FD/SD研修「KMU研究推進セミナー」（@金沢医科大・ハイフレックス）	
1月										
2月			・次年度集中講義、オンライン講義の受け入れに向けた調整（金城短大関係者と打ち合わせ）							
3月	・R3_第3回企画調整委員会（大学等 担当者） ・R3_第2回運営委員会（書面審議）（大学等・自治体・産業界 担当者） ・R3_第2回意思決定委員会（大学等・自治体・産業界 代表者）	・オンラインPBL大学生向け合同プログラム			・データ分析報告		・白山市就職説明会連携イベント ・就職応援セミナー「白山市オンライン企業説明会」直前！			
活動評価（自己点検）		B	B	C	B	B	C	A	B	B
4月			・大学コンソ（前期）単位互換		・大学コンソ（パンフレット・ガイドブック）発行					
5月	・R4_第1回企画調整委員会（大学等 担当者）					・白山商工会議所との共同アンケート報告	・就職状況アンケート調査			・大学基本データの調査 ・年間スケジュール、1日の授業時間割の調査、オープンキャンパス日程調査 ・免許、資格等の調査

【S】当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 【A】当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 【B】当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 【C】当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 【D】当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する技術的な見直しが必要である。

①共同 PBL 運営検討WG 事業報告

金城大学・金城大学短期大学部
金沢工業大学・国際高等専門学校

1. 令和3年度の活動目標

- (1)定員充足率 1.00(2022/5/1)
- (2)年間除籍・退学率 93% 524人
- (3)共同 PBL の単位化の検討

2. 令和3年度の活動計画

- (1)共同 PBL「プロジェクトデザイン基礎」等の単位化
- (2)自治体・産業界の課題をテーマとした共同 PBL の運用

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

- (1)定員充足率 0.96 (2022/5/1)
- (2)年間除籍・退学率 89% 503人
- (3)共同 PBL の単位化の検討

1) 共同 PBL「ラーニングデザイン基礎」等の単位化

2021年8月4、6日の2日間で大学1年生を対象とした「ラーニングデザイン基礎」(1単位相当)を試行した。今回はオンラインでおこなった。このプログラムは、PBL活動を効果的に行うためのラーニングストラテジー(戦略的学習力)の涵養をベースにしたもので、メンバー各自が別々の映像教材を視聴し、知見を持ち寄って議論を行うという、変則的なジグソー法を用いて議論し、メンバー全体にとって利のある議論における学習環境(ルール)を創出する授業をおこなった。映像教材はあらかじめ金沢工大の教員らが作成している。今後は各大学の教員らとノウハウを共有し、共同シラバス、共同授業運営の実施に向けた調整を行い、共同 PBL の単位化を検討する。

2) 自治体・産業界の課題をテーマとした共同 PBL の運用

- ① 2021年8月18-20日の3日間で高校生向け共同 PBL「高校生が考える学都圏“いしかわ”創成～みんなで考えるジブンの未来～」を実施した。当日は高校生がラーニングストラテジー(戦略的学習力)に理解を深め、学びの理想都市について議論をした。チーム活動中は2大学の教員や学生らがサポートを行い、大学の専門に関することや、新しい PBL の形を理解してもらうことができ、有意義なものとなった。
- ② 2022年3月2-3日に大学生を対象としたデザイン思考ワークショップ「春の PBL 合同プログラム」を開催し、加盟校3校の学生が参加し実施した。学生は複数大学が混合するチームを組み、メンバーとのやり取りは、自由に動いて話しかけられるバーチャル空間「oVice」を中心にオンライン上で行われ、学生たちは「大学の PR」をテーマに様々な課題に取り組んだ。オンライン上ではあるが、普段関わることの少ない他大学の学生と交流する貴重な機会となった。

4. 事業評価(自己評価)

評価：B(当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。)

理由：専門領域を異にする他大学の学生と同一のテーマで共同 PBL 授業を実施したことで、相互に刺激し合い大変有意義な学びの機会を創出できたことは十分評価できるが、共同 PBL の単位化の具体的な検討までには至らなかったため、次年度は具現化できるよう議論を深めたい。

以上

②単位互換検討WG 事業報告

金沢工業大学・金城大学・
金城大学短期大学部・国際高等専門学校

1. 令和3年度の活動目標

- (1) 定員充足率 1.00 (2022/5/1)
- (2) 年間除籍・退学率 93% 524人 (2022/5/1)

→上記2事項を達成するために

- ・単位互換に関するメディア発信 2件以上
- ・共同運営・単位認定・単位科目 合計4科目以上

2. 令和3年度の活動計画

- (1) モデル校による「単位認定協定」と手続きの確認
- (2) 単位互換科目の派遣・受入の実施
- (3) 単位互換制度の拡大、開講科目の検討

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

令和3年度活動基本計画に基づき、他大学等の科目を自大学等の科目として認定する「単位認定協定」を金沢工業大学と金城大学短期大学部の両校が7月に締結し、「AI基礎」(金沢工業大学提供科目)と「保育教材演習」(金城大学短期大学部提供科目)を開講した。どちらも対面で実施した。

受講後の学生へのヒアリングでは「とても楽しかった。またやりたい。今後の自分の専門に活かすことができる内容であった。」と好意的な意見が聞かれた。今後の運用として、ウィズコロナ時代を考えオンラインやハイフレックスでも実施できるよう、SmoothSpace等を活用した運用を検討している。金城大学短期大学部の関係者の方にSmoothSpaceを活用した「AI基礎」の授業を見学に来ていただき、今後の運用について検討を重ねている。

定員充足率 1.00 (2022/5/1) → 0.96

年間除籍・退学率 93% 524人 (2022/5/1) → 89% 503人

単位互換に関するメディア発信 2件以上 → 0件

共同運営・単位認定・単位科目 合計4科目以上 → 2科目

4. 事業評価(自己評価)

評価：B (当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。)

理由： 単位互換認定協定を締結し、他大学等の科目を自大学等の科目として認定した。実際の授業は対面で行い、受講後の学生の意見も好意的であった。

また新型コロナウイルス感染拡大により、大学間の距離や移動のための時間といった大きな弊害を解決するためSmoothSpace等を活用した運用の検討を進めている。次年度はオンライン・ハイブリッドでの授業で単位互換ができる環境を目指したい。

さらに履修手続き等の事務手続きや受講学生への情報提供をスムーズに行うことが今後の課題であり、今後担当校間での更なる調整が必要である。

以上

③専門連携・産学連携研究促進WG 事業報告

金沢星稜大学大学・金沢星稜大学女子短期大学部

金沢学院大学・金沢学院短期大学

1. 令和3年度の活動目標

(1) 受託・共同・助成の年間合計契約数 110% 84件 (2022/3/31)

2. 令和3年度の活動計画

(1) 産業界、自治体との意見交換

(2) 「住みやすさ」に関する産学官連携による社会実装型研究活動の推進

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

私大等 PF に参画する自治体から、全国の中でも住みやすいまちづくり上位の評価はどのように実現しているかを探るため、2021年10月1日、粟貴章野々市市長を講師にお招きし、「野々市市のまちづくり～住み心地一番のまちをめざして～」をテーマに、オンライン (ZOOM) による講演会を開催した。当日は、高等教育機関、自治体の職員約80名の参加があり、魅力あるまちづくりなどについて貴重なお話を聞くことができた。

4. 事業評価 (自己評価)

評価：C (当初の計画について半数以上の取り組みについて未達であり、取り組みや目標に関して一定の見直しが必要である。)

理由： 粟貴章野々市市長の講演会と併せ、地域に根ざす産業界より講師をお招きし、産学連携研究促進に向けて各高等教育機関が産業界とどのような共同研究などの連携協力ができるか、産業界の方々との意見交換等を行う予定であったが、スケジュールの都合上実施できなかった。

令和4年度については、私大等 PF の圏域における産学官連携に向けた連絡体制を強化し、共同研究等を推進する予定である。

以上

④入学者促進WG 事業報告

北陸学院大学・北陸学院大学短期大学部
北陸大学・金沢医科大学

1. 令和3年度の活動目標

- (1) 年間受験者数（のべ）の合計 108% 26,897人 (2022/5/1)
- (2) 県内・県外年間入学者数の割合 県内：県外=44:56 (2022/5/1)
- (3) 入学定員平均充足率 1.00 (2022/5/1)

2. 令和3年度の活動計画

- (1) 令和3（2021）年度 大学コンソーシアム石川での共同学生募集（追認事業：広報事業・石川県高大連携セミナー事業・出張オープンキャンパス事業・学都石川情報発信事業・文化系芸術祭）
- (2) 私大等 PF 県外出身者学生アンケート
- (3) WG連携
- (4) 各種データ分析

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

- (1) 令和3（2021）年度 大学コンソーシアム石川での共同学生募集
→ 広報誌の発行、石川県高大連携セミナー事業、出張オープンキャンパス事業、合同進学説明会 GAKU. FES（オンライン）を実施した。
- (2) 私大等 PF 県外出身者学生アンケート検討
→ 実施には至っていない。
- (3) WG連携
→ 6/24開催のシンポジウムでは、番外編として各大学の紹介（広報活動）を行った。
- (4) 各種データ分析
→ データ集計を行い情報共有した。2019年度からの3年間分のデータが蓄積され、引き続き分析を行い、傾向を把握していきたい。

4. 事業評価（自己評価）

評価：B（当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。）

理由：「私大等 PF 県外出身者学生アンケート」は実施に至っていない。2021年6月24日に行われた「コロナ禍でも頑張る！金沢市近郊の大学・短大・高専が地域つながるオンラインシンポジウム」では、番外編として大学紹介 Zoomセッションルームとして各大学が概要等紹介を行い、終了後はアンケートを実施できたことは、有意義であった。

以上

⑤小中高・一般・企業向け学習支援 WG 事業報告

北陸大学・金沢医科大学
北陸学院大学・短期大学部

1. 令和3年度の活動目標

複数の協力校（大学・短大・高専）による学修支援

- (1)小中高校生向けの公開講座等の年間開講件数 3件
- (2)社会人科目等履修生登録 50人
- (3)公開講座受講 3,800人

2. 令和3年度の活動計画

- (1)大学間連携事業の企画運営
- (2)複数の協力校（大学・短大・高専）による小中高校生向けの公開講座の企画・開講
- (3)複数の協力校（大学・短大・高専）による社会人向けの公開講座の企画・開講

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

令和2年度中に実施できなかった複数大学による一般・社会人向け共同公開講座について、「With コロナ時代の健康管理」をメインテーマとして、健康に関する講座を以下のとおり6講座を開講した。

開講日	講座名	講師	申込者数
9/21	新型コロナワクチン接種で日常生活は戻るのか?	小宮 智義(北陸大)	11
9/22	感染症に負けない食生活	新澤 祥恵(北陸学院短大)	22
9/22	五感を鍛えて認知症予防	森本 茂人(金沢医科大)	31
9/30	動画体操コンテンツの選び方	神谷 晃央(金城大)	12
10/26	体を動かしてリフレッシュ①スローエアロビック	牧口 茂子(金沢工大)	24
10/28	体を動かしてリフレッシュ②筋肉を整えるコンディショニング	牧口 茂子(金沢工大)	29

小中高生向けの講座については、令和3年10月に金沢市及び金沢市教育委員会と小学校で行われているプログラミング教育への協力について意見交換を行い、私大等 PF としてどのような支援ができるかを検討していくこととしている。

各加盟校の科目等履修生登録者数及び公開講座受講年間のべ数は、これからの集計となるが、コロナ禍において公開講座の実施が見送られている大学等もあることから、目標数達成は難しいと推察される。

4. 事業評価（自己評価）

評価： B(当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。)

理由： 一般社会人向けの共同の公開講座は実施することができた。次年度も私大等 PF 加盟校の特色を活かして多くの市民が興味・関心のあるテーマを選定し実施していきたい。社会人向けのリカレント教育は目標未達であるので、WG で素案を作成し各加盟校に提案の上、実施したい。小中高生向けのプログラムは自治体等との協議を引き続き行い、実施に繋げたい。

以上

⑥地元就職促進WG 事業報告

金沢学院大学・金沢学院短期大学
金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

1. 令和3年度の活動目標

- (1) 協定校（大学・短大・高専）の卒業生に対する地元就職者の割合[石川県内就職者数/卒業者数] 50%（令和2年度調査時 45%）

2. 令和3年度の活動計画

- (1) 地元就職に関する協定機関へのアンケート調査の実施
- (2) 産業界のニーズ調査
- (3) 学生に対する就職アンケート調査
- (4) 各種データ分析

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

地元就職に関する協定機関へのアンケート調査および産業界のニーズ調査については、アンケート項目の整理ができておらず、現段階ではニーズ調査を実施できていない。令和4年度には実施したいと計画している。学生に対する就職アンケート調査について、令和3年度はデルタ株の感染拡大傾向が続き、就職アンケートの調査時期を逸することとなった。令和4年度の就職活動は3月1日に解禁とされているが、オミクロン株の急拡大などにより、引き続きWEB面談などの状況が続いており、調査時期は未定と言わざるを得ない。各種データ分析については、現状で十分なアンケート調査が収集できておらず、満足な分析ができていない。令和4年度も未定であるが、できる限りアンケート調査を行いたい。

4. 事業評価（自己評価）

評価：C（当初の計画について半数以上の取り組みについて未達であり、取り組みや目標に関して一定の見直しが必要である。）

理由：2020年2月頃から新型コロナウイルスの感染拡大により、就職活動がWEB説明会やWEB面談に切り替わるなど、学生の就職を取り巻く環境が大きく変化している。コロナ禍以前は大学が主体的に企業説明会を開催していたが、それができていない状況が続いている。新型コロナウイルスがもたらした「新しい生活様式」の中で、企業の採用活動がどのように変化しているかを調査するなど、就職・採用活動に対する方針の見直しを行う必要があると考えている。

以上

⑦リスクマネジメント検討WG 事業報告

金沢医科大学・金沢工業大学

1. 令和3年度の活動目標

- (1) リスクマネジメントにおけるリスク対応項目数（累積） 20 個

2. 令和3年度の活動計画

- (1) 「石川中央都市圏ビジョン(改訂版)」に掲載されている災害対策と本 PF 連携校との具体的な連携を図るため、個別状況対応マニュアルの充実や共同防災訓練等の官学連携を企画する。

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

- ・KIT&私大等 PF 防災に関する研修会「事例から学ぶ災害時の具体的な対応」を開催し、有事の際や事前の備えを検討する契機とした。また、併せて各大学の「学生らによる各種活動」発表を実施した。
- ・上記研修会に先立ち、運営委員会において有事における危機管理に関する意見交換を行った。
- ・「学生らによる自主防災等に係る連携窓口(連絡先)」を取りまとめ、各大学に共有した。
- ・金沢工業大学に於いて、自治体や町内会、学生ボランティアと連携した避難区防災訓練を実施した。
- ・上記防災訓練の見学会として、金沢医科大学職員が参加した。
- ・昨年度取りまとめた資料(各連携校の災害や防災、新興感染症等に関する活動指針や保有設備状況)の更新有無等調査を行い、最新版を共有した。

4. 事業評価（自己評価）

評価： A(当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。)

理由： 金沢工業大学避難区で開催されている秋の共同防災訓練と連動したものとなるよう、KIT&私大等 PF 防災に関する研修会を実施した。また、併せて各大学の学生らから、地域防災に取り組んでいる各種活動の発表を行い、学生ボランティア団体同士の連携を深める事が出来た。さらに、この研修会に先立ち、各大学や自治体・産業界と有事における危機管理に関する意見交換を行うことで、効果向上に向けた工夫を行った。

コロナ禍という状況の中、小規模ながら自治体と連携した災害・防災訓練及び見学会を実施することが出来た。次年度に向けて内容の更なる充実を図りたい。

また、引き続き「休校措置対応マニュアル」等の個別状況を想定した対応マニュアルを積み上げていくことで、不測の事態に強い体制の確保を図りたい。

以上

⑧共同FD／SD 事業WG 事業報告

金沢工業大学・全大学等

1. 令和3年度の活動目標

(1) FD/SD 研修の実施 4回

2. 令和3年度の活動計画

(1) 各大学からのニーズに合わせたFD/SD研修を企画 (PF校以外へのオープンな研修会)

テーマ：PBL、データサイエンス基礎、遠隔授業運営、その他

(2) 研修後のアンケートの統一

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

(1) FD/SD 研修の実施 3回

回	日付	区分	テーマ	場所	人数
1	10月18日	FD/SD	防災に関する研修会「事例から学ぶ災害時の具体的な対応」	Zoom(金沢工大)	235名
2	10月28日	FD/SD	北陸大学 IR シンポジウム「クラウドを活用した IR プラットフォームの構築・運用」	Zoom(北陸大)	328名
3	11月19日	FD/SD	KMU 研究推進セミナー「AI とデータサイエンス」	対面・Zoom (金沢医科大)	89名 (対面：64名、 Zoom25名)

今年度は With コロナに伴い、オンラインやハイフレックスによるFD/SDを実施した。防災に関する研修会では、実際の被災時の状況や具体的な活動の様子が紹介され、参加者からは「防災に対する意識が向上した。」というコメントが多かった。クラウドを活用したIRプラットフォーム構築・運用では、ビッグデータを活用したLAによる授業改善について、自大学等に取り入れたいという興味関心があることがうかがえた。AIとデータサイエンスでは、教育現場も含めた医療の場においてもDXが求められており、様々な分野においてDXの技術を身につけた人材の育成が求められている。

4. 事業評価 (自己評価)

評価：B (当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。)

理由： With コロナに伴い、オンラインやハイフレックスによるイベントの実施が可能となった。これにより研修に参加しやすい環境になった。今年度のテーマは興味深い内容が多く、参加者は多かった。予定よりも実施回数が少なかったが、大学間の情報交換を楽しみにしている声が多く聞かれており、次年度も継続して、現場の教職員の興味深いテーマで実施していきたい。

以上

⑨共同 I R 事業WG 事業報告

金沢工業大学・全大学等

1. 令和3年度の活動目標

- (1) データ集の作成と充実、年間報告 1回

2. 令和3年度の活動計画

- (1) 各大学の基本データの調査
- (2) 教学データの項目検討・調査
- (3) 遠隔授業の満足度調査
- (4) その他

3. 令和3年度 事業実績・活動結果

本年度は基本データ集(①)に加え、②～④に関する情報を取りまとめた。昨年度に引き続き④については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、情報共有を行うことができ、他大学等の取組を自大学等の取組の参考とすることができた。

- ①令和3年度私大等PF基本データ集の取りまとめ(大学基本データの調査・分析)(10月)
- ②各大学等の年間スケジュール・1日の授業時間割(10月)
- ③各大学等の教員免許・各種資格の調査(10月)
- ④新型コロナウイルス感染防止対策の状況(6月・9月)

※企画調整委員会や運営委員会メンバーの座談会(6/17、9/10)においても、ワクチンの職域接種への対応や学事運営

4. 事業評価(自己評価)

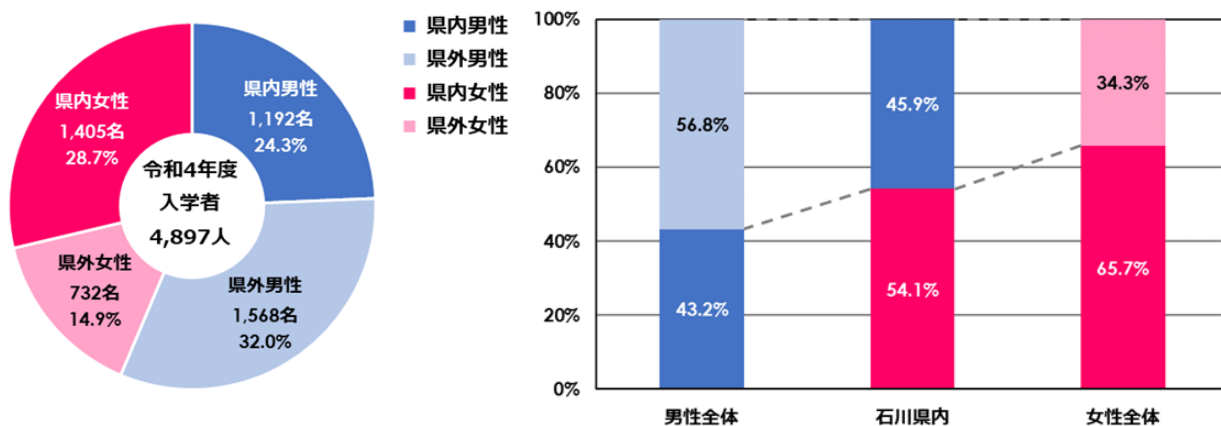
評価：B (当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。)

理由：5月1日の大学基本情報の他に各大学等の授業時間割や教員免許・各種資格の調査を取りまとめた。また、コロナ対応に関する情報をまとめることができた。教学データに関しては、今後共同PBLや単位互換の推進と共に調査を行うことができるので、関係WGと調整しながら検討したい。遠隔授業の満足度調査に関してはWithコロナ時代に伴い、遠隔授業の形態も変化し、対面と遠隔を組み合わせたハイフレックス授業や全面对面授業を実施する大学等もでてきており、遠隔授業の満足度調査の実施は行わなかった。

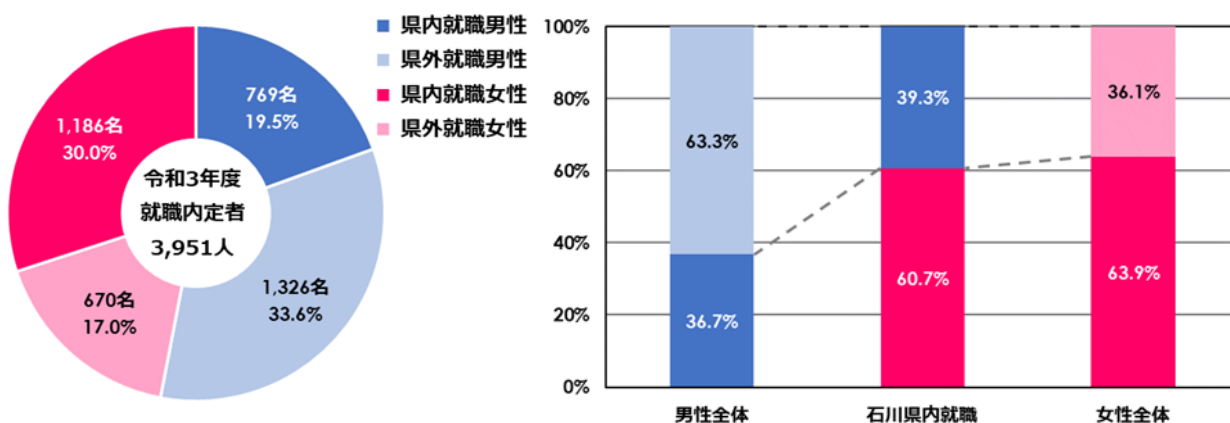
以上

4. IR データ（抜粋）

（1）入学者状況（2022年度入学者数：令和4年5月1日時点）



（2）就職状況（2021年度終了時：令和4年3月31日時点）



（3）その他

（私大等 PF 協力校の合計：令和3年4月1日～令和4年3月31日）

	項目	2021年度実績
1	受託・共同・助成契約数（対象：石川中央都市圏内）	95件
2	2022年度入試 受験者数（のべ）	24,540人
3	科目等履修生登録者数（学部卒以上・その他）	83人（47人・36人）
4	公開講座受講者数（のべ）	1,698人

5. 自己評価と達成目標・実績 (2021. 4. 1～2022. 5. 1)

■中長期計画に対する自己評価	
全体評価	S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
B	B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
評価理由	<p>2021年度は2020年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大により、各大学は対面授業等を重視しつつも、常に感染対策が求められる状況が続いていた。第1四半期に私大等P F オンラインシンポジウムを開催し、各大学教育の対応について共有できたと共に、地域に向けてコロナ禍における教育の状況を発信することができた。</p> <p>本P Fで取組む事業は、基本的にオンラインを活用して事業の推進を行った。各WGもそれぞれの大学の状況を考慮し、当初の計画を超えるような実績や顕著な成果は見られなかったものの、一部の事業を除き計画していた事業を実施することができた。P B L運営検討WGでは、オンラインでP B L事前学習の試行授業を実施し、単位互換WGではP F内の文系と理系の大学による単位互換協定を締結し、互換授業を実施した。また、専門連携・産学連携研究促WGでは、対象地域内の野々市市長より地元の産業・大学連携に期待する内容について講演いただき、入学促進WGでは、大学コンソーシアム石川による本P Fの全参加校が参加するオンライン進学説明会へ積極的に参画するほか、P B L運営検討WGと連携した高大接続によるP B L学習を実施した。小中高・一般・企業向け学習支援WGでは、5大学で「With コロナ時代の健康管理」というテーマで地域向けの公開講座を開催し、リスクマネジメントWGでは各大学の危機管理の体制調査や防災に関するF D / S D研修、学生同士が安全・防災活動の意見交換を行った。またテーマ別のF D / S Dの開催、各大学の基本データ等のI R調査も行うことができた。</p> <p>さらに、幹事校である金沢工業大学が2020年度末に文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化事業」に選定され、大学間を常時接続する仕組みの導入を図ると共に、本P F内でデジタル機器を活用した教育D Xの取組にも着手し始めた。今般の感染拡大に伴う世界的な半導体不足や原材料の不足等により、予定していたデジタル機器の納品が遅延したため、それらを活用した教育効果等の評価までに至っていないことが課題となっている。次年度は、P F内での教育D Xの実践的な取り組みに期待するところである。</p> <p>また、自治体・産業界との連携については、白山市とは就職応援セミナーを開催することができた。しかし、特定地域としての十分な成果が得られているとはいえない。大学が抱える課題と地域が抱える課題を相互に理解を深め、三者にとって有益な成果がもたらせるよう継続した努力が必要であると考えている。</p> <p>今般の新型コロナの世界的な拡大により、各大学では感染防止対策としてオンライン授業が展開され、これに伴い、大学間の連携も大きな進展がみられている。また、アフターコロナにおいても、大学間の物理的な距離や分野を超えた教育が実現しつつあるところから、これらの質を上げることで学都金沢、強いては総合大学としての機能の特徴とした本P Fの魅力創出につながることを期待している。</p>
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	<p>2021年度は各大学で対面授業を重視しつつも、感染症の急拡大に伴い、オンラインによる教育を実践せざるを得ない場面もあった。各大学で対面と遠隔対応の取り扱いやオンライン環境整備が異なるため、教育D X等への取組も含め、各大学の本P Fの事業への参加・参画については一律に調整することは難しい。各大学の状況を加味する必要があるが、事業によって進捗の温度差がある点は考慮すべきであると考えている。</p>

■達成目標・活動指標等 (2020. 4. 1~2021. 5. 1)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
<ul style="list-style-type: none"> ● 18歳人口減少による入学定員の確保 ● 多分野集結の学園都市「学都金沢」の優位性の活用 ● 大学コンソーシアム石川の中の私大の多様性・独自性の発揮 ● 特定地域の活性化 ● 専門性を活かした地域課題の解決への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員充足率 1.00 ・ 各大学の資源の共有化ならびに集中による「国際教養課程」の設立準備および試行 ・ 産学官金民一体となった推進(石川中央都市圏ビジョンの達成) ・ 石川中央都市圏の「住みやすさ」ランキングの向上 	(取組1) 教育の質向上に向けた各大学等の資源の共有化ならびに集中に関すること	(取組1の活動指標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 在学生の定員充足率 ・ 年間除籍・退学者数 	(取組1の活動実績) <p>年間除籍・退学者数は昨年度より減少し目標に達したが、在学生の定員充足率は 0.96 と目標値の1に達することができなかった。</p> <p>【共同 PBL 運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年度に引き続き、共同 PBL の試行授業をオンラインにて実施した。今後、単位化に向けて調整・協議を行う。 ・ 自治体・産業界の課題をテーマとした共同 PBL イベントを高校生・大学生を対象に実施した。 <p>【単位互換運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年 7 月に金城短大と金沢工大で単位認定協定を締結し、対面授業で単位互換を実施した。 ・ 引き続き、オンラインやハイフレックス授業での単位互換の実現に向けて、遠隔通信システムを活用した運営を検討する。 	B
		(取組2) 類似または異なる専門分野の連携による新たな価値創造に関すること	(取組2の活動指標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元企業と大学等の受託、共同、助成契約数 	(取組2の活動実績) <p>受託、共同研究契約数は目標の 84 件を超え、95 件であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体の長によるまちづくりに関する講演会を実施した。 ・ 産業界より講師を招いて産学連携研究促進に向けた意見交換を行う予定であったが、スケジュールの都合上、実施できなかった。 	C
		(取組3) 「学都金沢」ブランドを発信し、石川県内への進学促進に関すること	(取組3の活動指標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 受験者数 ・ 県内・県外の入学割合 ・ 入学定員充足率 	(取組3の活動実績) <p>受験者数は約 2,000 人不足、県内外の入学者の割合は県内: 県外 = 53: 47、入学定員充足率は 0.97 と目標に達することができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドブックの作成、高大連携セミナー、出張オープンキャンパス、合同進学説明会(オンライン)を実施した。 ・ 本 PF のシンポジウムで各大学等の紹介(広報活動)を実施した。 ・ 入学者に関するデータ分析を行い共有した。 ・ 県外出身者学生アンケートは実施できていない。 	B
		(取組4) 企業・地域住民の主体的な学びを可能とする、多様な学習機会の創出に関すること	(取組4の活動指標) <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高校生向け公開講座 ・ 社会人科目等履修生登録者数および公開 	(取組4の活動実績) <p>科目等履修生数 47 名、公開講座受講者数 1,698 人であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「With コロナ時代の健康管理」をメインテーマとした一般・社会人向けの共同公開講座を 6 講座実施した。 ・ 小中高向けの共同講座開講を実施することができなかった。 	B

		講座受講人数	<p>10月に自治体とプログラミング教育への協力について意見交換を行った。今後、どのような支援が行えるかを検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開講座および科目等履修生は、コロナ感染拡大の影響を受けて、受講者数が減少した。 ・社会人向けのリカレント教育に関する、白山商工会議所との共同アンケート「社会人のスキルアップ・社内教育に関する調査」を実施した。 	
	(取組5) 地元企業の人材確保に関する事	(活動5の活動指標) ・地元就職率	<p>(取組5の活動実績)</p> <p>地元就職率は目標の50%には届かず、42%であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各大学等および産業界を対象とした地元就職に関するニーズ調査を実施できなかった。 ・学生に対する就職アンケート調査を実施できなかった。 	C
	(取組6) リスクマネジメントに関する事	(活動6の活動指標) ・域内のリスク対応項目数	<p>(取組6の活動実績)</p> <p>目標とする20個の対応ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各大学等のリスク対応項目を修正した。 ・自治体や町内会、学生ボランティアと連携した避難区防災訓練および見学会を実施し、これと連動して防災に関する研修会も実施した。 ・令和2年度に取りまとめた資料(各連携校の災害や防災、新興感染症等に関する活動指針や保有設備状況)を最新情報に更新した。 	A
	(取組7) 共同FD/S Dに関する事	(活動7の活動指標) ・年間開催回数	<p>(取組7の活動実績)</p> <p>目標の4回は実施することができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインやハイフレックスによるFDおよびSD研修を10月・11月に3回実施した。 	B
	(取組8) 共同IRに関する事	(活動8の活動指標) ・共同IRによるファクトブックの年間発行回数	<p>(取組8の活動実績)</p> <p>各大学の情報を収集し、10月にファクトブック(データ集)を発行することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各大学等の基本情報(在籍者数・出身・除籍退学・受験者数・就職状況・産学連携・公開講座等)に加え、年間スケジュール・授業時間割・教員免許・各種資格も集約し、データ集として発行した。 ・新型コロナウイルス感染症対策に関する情報共有を行った。 ・教学データについては、今後、調査に向けて検討する。 	B

■参加大学等一覧

大学等名	住所	担当部署
金沢医科大学	〒920-0265 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地	学事部 076-286-2211
金沢学院大学	〒920-1392 石川県金沢市末町10	企画部 076-229-8892
金沢学院短期大学	〒920-1392 石川県金沢市末町10	企画部 076-229-8892
金沢工業大学 (2020・2021年度 幹事校)	〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1	共創教育推進室 076-294-6743
かなざわ食マネジメント 専門職大学(2021年10月加入)	〒924-0011 石川県白山市横江町8街区1	事務局 076-275-5933
金沢星稜大学	〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1	事務局 076-253-3924
金沢星稜大学女子短期大学部	〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1	事務局 076-253-3924
金城大学	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200	総務企画部 076-276-4400
金城大学短期大学部	〒924-8511 石川県白山市笠間町1200	総務企画部 076-276-4400
国際高等専門学校	〒921-8601 石川県金沢市久安2-270	事務局 076-248-1080
北陸学院大学	〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11番地	総合政策課 076-280-3858
北陸学院大学短期大学部	〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11番地	総合政策課 076-280-3858
北陸大学	〒920-1154 石川県金沢市太陽が丘1-1	社会連携研究推進部 076-229-1161

■協力自治体

自治体名	住所	担当部署
金沢市	〒920-0962 石川県金沢市広坂1-1-1	都市政策局企画調整課
白山市	〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地	企画振興部協働推進課
野々市市	〒921-8510 石川県野々市市三納1丁目1番地	総務部企画財政課
内灘町	〒920-0292 石川県河北郡内灘町字 大学1丁目2番地1	都市整備部企画課

■協力産業界

団体・企業名等	住所	会員数
金沢商工会議所	〒920-0918 石川県金沢市尾山町9番13号	5,826社(2022.4.30現在)
白山商工会議所	〒924-0871 石川県白山市西新町159-2	1,628社(2022.3.31現在)
野々市市商工会	〒921-8821 石川県野々市市白山町8-16	24社 (石川県商工会連合会HPより)
一般財団法人北陸産業活性化センター	〒920-0981 石川県金沢市片町二丁目2番15号	52社(2022.9.1現在)